

第3回 朝倉運動公園再整備町民検討委員会 議事録

日時：令和6年11月25日（月）15時00分～16時30分

場所：垂井町役場 1階 垂井ホール

出席委員（敬称略）：後藤 誠一、古山 昌人、西川 一明、山田 成利、奈良 平三、
松浪 敏郎、遠藤 誠、角田 寛、浦野 真由美、中川 未凡、
佐竹 まみ、太田 佳祐

議事の概要（主な意見）

（1）基本構想（案）について

1. 開会

【副町長】

- ・本日はお忙しい中、第3回朝倉運動公園再整備町民検討委員会にご出席いただき、誠に感謝申し上げます。
- ・日頃から町政の推進について、ご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。
- ・11月に入り暖かい日が続いていたが、先週あたりから急に寒くなった。インフルエンザも流行っているため、体調管理に気をつけていただきたい。
- ・9月の夏に開催した垂井町合併70周年記念式典では、大勢の皆様に参加していただいたこと、誠に感謝申し上げます。
- ・来月の12月1日にコネクトベース垂井がオープン予定である。本施設は、垂井駅前の旧保育園を改修したビジネス拠点であり、商工会も入る予定である。今後は、本施設を有効活用して、地域経済が活性化するよう取り組んでいきたい。
- ・本日は次第のとおり、基本構想（案）を作成したので、内容を説明させていただき、皆様からの意見を頂戴したい。
- ・本日は、よろしく願い申し上げます。

2. 議題

（1）基本構想（案）について

【副委員長】

- ・本日は、何を審議するのか教えていただきたい。

【事務局】

- ・前回の町民委員会では、骨格となる基本理念、基本コンセプト、整備方針についてご協議いただいたため、その協議内容が反映されているかのご確認と基本構想の全体について確認をしていただき、この2点について審議していただきたい。

【委員】

- ・基本構想29ページのアンケートにおいて、約87%の町民が体育館・体育センターの使用頻度

を「まったく利用しない」と「ほとんど利用しない」と回答しているため、なぜ体育館・体育センターを使用していないかを聞いた方が良いと思う。

- 多くの人から意見をいただく方法としては、各地域にまちづくりセンターがあるため、その体育推進委員の方や、小学校・中学校の生徒の意見を聞いて、包括的に意見を聞けたら良いと思う。時間的余裕がないとは思いますが、そういう意見を聞けると良い。
- 利用者は土日が多い。これは当たり前だと思うが、イベントやテニス、バトミントンなどの試合があるからである。
- 私も毎週月曜日にショートテニスをやっている。その際に小さい子どもがお母さんと一緒にバトミントンをやっているのを見ていると、もう少し施設が充実して、子どもたちが施設を有効に利用できると良いと感じる。
- アンケートでトイレが問題として挙げられている。トイレの改修は、できるところからやっていくのか、総合的に計画を推進していくのか。

【事務局】

- 今後、パブリックコメントを実施し、皆様のご意見をいただく予定であるため、体育推進委員の方にもご案内し、また、まちづくりセンターについては基本構想案のパブリックコメント用の資料を設置するため、その際にご案内させていただきたいと考えている。
- 朝倉運動公園の再整備は、官民連携で整備・運営をしていきたいと考えている。民間事業者の思いがあるため、トイレや遊具を先行して設置したとしても、そこに何か別の施設を持っていきたいという民間事業者の声があると、民間事業者の意向の障害になる恐れがあるため、慎重に進めていきたいと考えている。

【委員】

- この朝倉運動公園再整備に関する情報は町広報誌に掲載しているのか。

【事務局】

- 町民検討委員会については、第1回委員会から結果についてホームページに掲載している。

【委員】

- ホームページの情報は、以外と知らない人が多い。

【副委員長】

- ホームページの掲載だけだと高齢者は閲覧できない。

【事務局】

- パブリックコメントの募集については、広報に掲載させていただく。
- 印刷物を配布することは、資料にボリュームがあるのでなかなか難しい面もある。

【委員】

- 私はテニスをやっているが、テニス終了後に朝倉運動公園再整備町民検討委員会の資料をテニス仲間に見せて、意見を聞いている。飲み物を飲みながら、公園の問題点について10分から15分かけて議論している。このようにみんなが関心をもって盛り上げていけると良い。

【委員長】

- ・地域の方から丁寧に意見を聞くのは、非常に重要なことであるため、本委員会において、ご自身の意見または聞かれた意見も含めて意見をいただきたい。

【委員】

- ・今更の意見だが、体育館を町の中心部にもっていったらどうかという意見をよく聞く。朝倉運動公園は駅からの移動が難しいため、体育館は駅の近くにあると良いという意見を若いお母さんから話を聞く。

【事務局】

- ・体育館の位置については、庁舎内でも議論があり、朝倉運動公園は駅から離れていることやバスなどの公共交通機関が充実していないという点は、危惧している。
- ・民間事業者のサウンディング調査では、朝倉運動公園から体育館がなくなると公園自体の魅力、ポテンシャルが下がってしまうとの意見があった。したがって、朝倉運動公園において、体育館は核となる施設であり、官民連携で再整備を目指していることもあるため、基本的には朝倉運動公園内での再整備を考えている。子育て目線での施設整備は、また別でアクセスしやすい所など、全町的に考えていきたい。

【委員】

- ・再整備を進める上で、今は大切な時期である。これから基本構想が軸となり、再整備が進められていく。
- ・基本構想の内容は、体育館を建替えて、利便性が良い施設にしていくというだけである。
- ・基本構想2ページ（総合計画）の内容があまりに薄い。綺麗な言葉を繋げているだけで、どういう戦略を持って、この施設をどんな戦略の中でプロデュースしていくかが見えてこない。
- ・このまま、サウンディング調査を進めていくと、施設のハード面ありきとなる。仮に、民間事業者が多少資金を出してでも、施設を建てて運営をしていくのが見えているのであれば、その事業者との議論は大切になってくる。その場合は、手を挙げている民間事業者と地域住民とのすり合わせが重要になってくると考える。
- ・資金を出してこの施設を運営したいという民間事業者がないとすると、この予算で何ができるのか、どんな建物がつくれるのかというハード面の話だけになってしまわないか心配である。
- ・行政依存のサービスから脱却して、地域住民が主体的にスポーツ環境を共創していくという内容も上滑りしている。そのために、どこが、なにを、どうやってプロデュースし、仕掛けるのかという戦略の提示が必要となってくる。その戦略に則って、地域住民と共にまちづくり、スポーツ文化を進めていくことが重要である。そういったソーシャルガバナンスの体制をどうつくりながら、どうこの施設を有効に活用していくかという戦略を議論する場が必要である。
- ・今までの垂井町のパブリックコメントは、残念ながら多くの意見は集まっていない。どう多くの意見を集めるのかという戦略が重要である。
- ・PPPの方向性は、地方自治体の成長戦略では今や当たり前の方向性である。しかし、PPPについて、地域の方にはわかりにくい内容である。仮に指定管理制度を活用しても、施設管理人さ

えいればいいという誤った考えの方も多くいると思う。

- どうやって民間のアイデアを取り入れていくか、その方向性を垂井町がどうコントロールしていくかという戦略を立てなければならない。
- 大きいグランドプランがみえない。施設を建てる基本構想がここに一つあり、逆にいえば、建物を建てるだけの基本構想しかない。すなわち、建物しか建たないことを非常に心配している。

【事務局】

- 町としての戦略は、以前からいただいていた意見であるが、今回の基本構想のコンセプトとして、生涯スポーツの充実、にぎわいのある公園、防災の視点が設定されており、核として体育館・体育センターを軸として置いている部分があるため、建物ありきの基本構想と言われても仕方ないが部分も一部ある。ただ、基本計画の策定まで期間もあるので、今後、住民の方々を巻き込む方法を検討していく。例えば、イベントを実施して、住民や民間事業者の意見を拾うようなトライアルサウンディング調査のような形も検討していきたい。

【委員長】

- アンケートでは拾えない声があるため、できるだけ広く意見をいただく機会をつくることが大事である。方法、手段についても、ネットを利用されない方もいるため、掲示板等を活用して、より多くの方から意見をいただけると良い。

【委員】

- 人口減少が進む自治体において、立派な建物ができても、5年後には利用する町民の人数が減ることが現実である。消滅市町村として挙げられている他都市の事例では、新しい校舎を建てた際に、立派なものが建って良かったねとなったが、その時に人口減少が進行している状況はどうするという話になった。その事例では、サウンディング調査や委員会が開かれたが、地域の意見が建物の設計にはリンクしなかった。どのように関係人口、交流人口を増やして、その市町村のファンになってもらうかが重要であり、そのための戦略が必要である。
- 基本構想の2ページでは、「住民ニーズを反映した満足度の高い公園の整備」とあるが、地域住民のための体育施設だけの構想だけで良いのか。これがひとつの目的であるが、これをベースにして、二の矢、三の矢を立てるような総合計画の基本コンセプトが必要である。

【委員】

- 総花的な計画は、誰にとっても使いやすいというのは良いことだが、誰のためかがわからなくなる。
- 第6次総合計画でさえ10年間の計画であるが、長い期間でビジョンを考える必要がある。
- 体育館の建替えとまちづくりが連動した事例として、岩手県紫波町のオガールがあげられる。紫波町は、県庁所在地の盛岡市の隣の小さい町であるが、日本で初めてプロ仕様のバレーボール専用の体育館を整備した。全国から実業団や部活動が遠征で来たりして、それをもとにバレーボールのまちを目指している。また、そこで宿泊する人のためのホテルができ、家もできて、今、大変注目されている。
- 朝倉運動公園も何かスポーツを限定しても良いかもしれない。垂井町に由来があるスポーツに

して、世界を目指せるぐらいの競技にするという考えがあると、そのスポーツの一流の人が来て、合宿・宿泊・飲食をするかもしれない。

- ・特定のスポーツに限定するのは難しいと思うが、公園全体が平均的に 70 点取るよりも特定のスポーツでは 120 点が取れるなど、世界レベルまでいけると非常に良いと思う。
- ・岐阜県では、障がいをもっている人がスポーツする施設がなかなかない。パラスポーツができて、そういう人も含めて楽しめる体育館だと良いと思う。

【事務局】

- ・「何かに特化した」という考えは、民間事業者からもよく意見としていただいている。時代に合った、ニッチなところをどうやって見つけるかということは、基本計画に進む中でのサウンディング調査等で見出していきたいと考える。

【委員】

- ・どんなに立派な施設を建てても 8 割の人も賛同しない。有名なスポーツ選手が朝倉運動公園で合宿をしたら、日本全国、諸外国からも誘致できる可能性を秘めている。
- ・基本構想なので仕方がないが、中身に具体性がない。基本構想をいつまでもやっても仕方がない。そろそろ中身に入って行って、建物の具体的内容を示して、みんなの興味を引いた方が良い。

【事務局】

- ・「立派な施設」と仰っていただいているが、民間事業者とのサウンディング調査では、身の丈に合った整備をされるのが良いのではとの意見があった。人口減少が進む中で、新体育館が完成したときにスポーツ人口がどれくらいいるのかも考慮して、再整備を計画する必要があるとの意見は聞いている。どういった機能を入れていくかは基本計画の方で考えていく予定である。まずは、体育館にどのような機能を入れるのか、そういった体育館の基本計画を策定して、その後、公園全体の基本計画といった流れで考えている。その際には、町民の皆様のご意見をいただきたいと考えている。

【委員】

- ・障がい者スポーツの話は、ミッション、ビジョンのひとつである。
- ・公園全体の構想の中での議論ではなく、大きいミッション、ビジョンの垂井町成長戦略の中でこの施設を使った総合戦略があって、その中に施設をどのように活用するかという位置づけで議論しなければならないと考える。
- ・基本計画でミッション、ビジョンを考えると、施設の建設というところに吸収されるため、このタイミングで大きいミッション、ビジョンの戦略を先ず立ち上げながら、朝倉運動公園の再整備計画をどう活用していくのか、位置づけを再考していただきたい。

【委員】

- ・現在は、小学生、中学生を中心にスポーツを教えている。
- ・朝倉運動公園について、指導者、保護者の中では、古い、中途半端という意見がある。体育館は観客席がなく、応援ができないため、大きい大会であれば町外でやれば良い、という考えを持つ

っている人もいます。

- 子どもを教えている立場からすると垂井町で大会をしたい。町で親御さんに観客席で観てもらいたいと思う。
- 現在はクラブ化に伴い、少年団自体も減っている。中学校も地域に移行し、少年団や団体が受け入れている状況であり、それに合った体育館になると良いと思う。
- 指導者、保護者の中では、朝倉運動公園のような運動施設と練習で活用することのできる坂道がある公園は少ないとの意見があった。ここで合宿をやれば良いとの意見があった。

【事務局】

- サウンディング調査でも合宿誘致というアイディアはあった。今後は、体育館の方向性が決まった段階でのサウンディング調査を実施し、合宿誘致等を検討していきたい。

【委員】

- 私は垂井町に移住して1年経っていない。垂井町のことを十分に把握していない発言で申し訳ないが、各市町村の課題としてスポーツ推進団体の一元化がある。今まではそれぞれの団体の規模が大きかったが、種目別で活動していくためには高齢化しており、事務局の行事イベント等の運営が大変である。少年団の団体については、少子化も進行している。文部科学省が推進している中学校の部活動の地域移行もある。このような状況の中で、垂井町の朝倉運動公園再整備も大きな柱になると思う。スポーツ関連推進団体の関係連携強化を関連させていただくことをお願いしたい。
- もし行政の中で、人口減少を踏まえて小規模な整備でとどめておく方針が決まっているのであれば、いち早く地域住民に対して、十分に説明して共感や納得を得る必要がある。

【委員】

- 合宿について、町内の民間スポーツ施設運営会社で合宿の話聞いた。東海地方のチームと関西のチームが試合をすることもあり、関西のチームの方に人づてに話を聞いた。関西のチームの方が大会で垂井町に来た際に、泊まる場所や、飲食店を紹介した。大会を観に行くと、静岡県、京都府、大阪府、奈良県のチームが来やすいと聞いている。垂井町は、高速道路も近いとの意見があり、立地条件は良い。運営者からは、スポーツを限定しても事業として収益を上げていると聞く。
- 今回、官民連携で整備・運営していくならば、一部でも良いので何かの競技に特化した場所に自分たちで投資をして整備していくことも可能であると考え。工夫や思いで良い形にできるのではないかと。すでに、その事例が町内にあるため、その事業者から意見をいただくと良いと考える。

【委員長】

- 本日はこれまでにご指摘があった戦略との位置づけ、この町ならではの施設づくりや将来の可能性を考えつつ、なおかつ利用されている方からの意見もうまく反映させながら、基本構想を考える必要があるとの意見をいただいた。
- 次回の委員会では、本日の意見を反映した基本構想とパブリックコメントの結果の報告を行う。

- ・ご意見、質問等があれば事務局に問い合わせをすること。
- ・今後とも基本構想策定に向けた検討が順調に進むようご協力をお願い申し上げます。
- ・本日の検討委員会の議題は終了させていただく。

3. 閉会

【事務局】

- ・本日は、非常に多くの意見をいただきありがとうございました。
- ・次回委員会は令和7年2月26日(水)15時から垂井町役場 2階 協議会室での開催とする。
- ・以上をもって第3回委員会を閉会とさせていただく。本日は、誠にありがとうございました。

以 上